

市原市認知症対策連絡協議会 第6回総会 議事録

日 時 : 平成30年4月15日 15時15分～16時00分
場 所 : 市原市勤労会館 YOU ホール
司 会 : 佐藤 潤
出席者 : 58名

1. 会長挨拶 (会長 小沢義典) 天候が心配されたがとても盛況に行われて良かったと思う。
今後も周囲の関心を持ってもらえる会になっていくと良いと思う。

2. 議長選出 一任で 辰巳萬緑苑 小出 浩丸
書 記 : 岩本 明子 菊池 信子
議事録署名人 : 小沢 義典 池田 有紀

3. 議事

議題 1 活動報告・活動計画について (総会資料 参照)

平成29年年度活動報告

・全体として 千葉労災病院 岩本明子

平成29年4月16日 市原市認知症対策連絡協議会 第5回総会 参加54名

市原認知症あんしんフェア 参加224名

平成29年7月17日 第13回例会 参加者49名

平成29年10月19日 第14回例会 参加者46名

平成30年1月25日 第15回例会 参加者46名

平成29年9月3日 認知症多職種共同研修会 「認知症と共に歩む」参加者97名

平成29年9月10日 RUN 伴いちほら 参加者300名

平成29年11月23日 「ちはら台医療・介護の集い」参加約200名

役員会 29/6/19 29/9/29 29/12/25 30/3/5 (4回開会)

市認協ニュース 29/6 29/10 (2回発行)

・各プロジェクト 詳細は総会資料参照

多分野連携プロジェクト 市原福祉ネット 高地優二

《平成29年度活動報告》

- ・あんしんフェアにて『よろず相談』を実施
- ・多分野にまたがる相談の事例集を作成
- ・地域でお叶われている各種勉強会などの情報収集

《平成30年度活動計画》

- ・『よろず相談』を継続し、市内関係者の顔が見える関係づくりを行う
- ・分野患連携を取り組む協議会等は充実しているため、プロジェクトとしての活動は終了とする

若年性認知症対策プロジェクト ほほえみケアセンター 高橋瑞穂

《平成 29 年度活動報告》

- ・ご本人を含めた交流の場を 5 月 14 日に農業センターで開催 21 名参加
- ・11 月 25 日 房総十字園でみかん狩り開催 19 名参加

《平成 30 年度活動計画》

- ・5 月 12 日 農業センターにて交流会
- ・9 月 23 日若年性認知症をテーマに多職種協働研修予定

認知症サポータープロジェクト やさしい手京葉 山越篤史

《平成 29 年度活動報告》

- ・安心フェアにて「キャラバンメイトコーナー」を設置し、寸劇パズル等を行う
- ・認知症サポーター養成講座修了者への支援として、交流会の企画実施
- ・認知症の人や家族を支援する「オレリン会」の設立、活動
(認知症サポーター養成講座修了者でロバマスコット、ぬいぐるみ作り)

《平成 30 年度活動計画》

- ・安心フェアにて「キャラバンメイトコーナー」を設置し、寸劇パズル等を行う
- ・認知症サポーター養成講座修了者への支援として、交流会の企画実施
- ・認知症の人や家族を支援する「オレリン会」の活動支援。
(認知症サポーター養成講座修了者でロバマスコット、ぬいぐるみ作り)
- ・小学校や中学校など子供たち向けの認知症サポーター養成講座の企画

在宅介護者を支えるマニュアル作りプロジェクト

市原市地域包括支援センター・たつみ 菊池信子

《平成 29 年度活動報告》

- ・作成した「私の未来設計図」を市認協のホームページに掲載し、研修や地域行事の中で紹介

《平成 30 年度活動計画》

- ・高齢者が集える場所の情報を収集し、ホームページ等で紹介する。
- ・「私の未来設計図」の広報

服薬支援ネットワークプロジェクト 千葉労災病院 小沢義典

目的 在宅での正しい服薬の実現

薬剤師の在宅訪問普及

医師・介護職への情報提供

かかりつけ薬局・薬剤師への啓蒙

オレンジシートの活用

多剤投与の改善

《平成 29 年度活動報告》

地域包括支援センターによる服薬アンケートの実施
かかりつけ薬局・薬剤師への啓蒙
在宅訪問の普及活動と多職種との情報交換、交流
多色に向け薬剤師の在宅訪問の講演（2回/年）
24時間対応相談薬局の設置（9月－2月）
多職種とやり取りができるお薬手帳の作成

《平成30年度活動計画》

かかりつけ薬局・薬剤師への啓蒙
在宅訪問の普及活動と多職種との情報交換、交流
認知症の早期介入、早期投薬の早期服薬の介入
多剤・重複投与の改善

パソコン及び家電支援隊プロジェクト なんな苑 飯吉祐樹

《平成29年度活動報告》

- ・スカイプ居酒屋への参加を奇数月の第2土曜日に行った
- ・平成28年3月～平成30年1月までの計12回
- ・居酒屋での参加は毎回8人程度、スカイプでの参加は1から3組程度

《平成30年度活動計画》

- ・Wi-Fiルーター購入及び維持費の助成が現在のところない
- ・介護居酒屋への参加人数が増えない。
- ・パソコン手段であって目的ではないため、他のプロジェクトに吸収してもらってもいいと考えている。
- ・平成30年度の活動は終了とする。

新規プロジェクト検討プロジェクト 市原市地域包括支援センターふるさと 松岡幸子

《平成29年度活動報告》

- ・介護者居酒屋 奇数月の第2土曜日、午後6時から辰巳台の「石狩」にて開催中
タウン誌や新聞などに載せた広報を見て参加した人もいた
- ・もの忘れ認知症寄り合いサロン
NPO法人一歩一歩によるもの忘れ認知症寄り合いサロンの第一回を2月に行った
スマホ・パソコン相談会を行い、2名の相談があった。
3月10日に覚えてる会10周年記念発表会を行った

《平成30年度活動計画》

- ・介護者居酒屋 引き続き開催 レスパイトケアの1つとして、この集まりを必要としている方にどうすれば情報が届くか検討していく。
- ・物忘れ認知症寄り合いサロン
毎週第2土曜日 10時より16時 やさしい手京葉で開催
もの忘れ便利グッズの最新情報をホームページなどで紹介していく
4月にビデオ撮りを開始して順次紹介、便利グッズの啓蒙を全国的に広めたい

《平成 29 年度活動報告》

- ・4月16日（日）正午～午後4時市原市勤労会館 YOU ホールで「いちほら認知症あんしんフェア」を開催。老若男女が224名参加。
- ・H30年度の快晴に向け改善点等を整理。コーナー参加者や運営ボランティアとの連携・調整。

《平成 30 年度活動計画》

- 4月15日（日）正午～午後3時 市原市勤労会館 YOU ホールで第2回「いちほら認知症あんしんフェア」を開催
- ・今後の活動については、フェア開催後に継続するか検討するかを含めて検討する

RUN 伴プロジェクト グランモア和光苑 福田卓美

《平成 29 年度活動報告》

- ・全国的に開催されている RUN 伴を平成 29 年 9 月 10 日に開催した
更科公園内コース（1.3.5 km の 3 コース） 参加 313 名（内ボランティア 81 名）

《平成 30 年度活動計画》

- ・今年度は、9月8日（土）市内の高齢者施設や介護サービス事業所を中継地点として
襷をつなぐ エントリー時期：7月頃

*質問等はなく拍手で承認を得る

議題 2 会計報告 総会資料に基づき報告（総会資料参照）

議題 3 監査方向 総会資料に基づき報告（総会資料参照）

*質問等はなく拍手で承認を得る

議題 4 役員について 役員案が提案され、拍手で承認を得る

新役員

| | | |
|------|--------|----------------------|
| 会長 | 小沢 義典 | 千葉労災病院 |
| 副会長 | 小出 貢二 | 市原市医師会 こいで脳神経外科クリニック |
| | 細川 清史 | ファーコスだいした薬局 |
| 事務局長 | 岩本 明子 | 千葉労災病院 |
| 会計 | 山越 篤史 | やさしい手京葉 |
| 幹事 | 石川 道子 | 介護センターなのはな |
| | 伊藤 俊介 | リハビリテーション病院さらしな |
| | 亀山 美紀 | 市原市役所保健福祉部地域包括ケア推進課 |
| | 菊池 信子 | 市原市地域包括支援センター・たつみ |
| | 木村 みどり | 千葉労災病院 |
| | 高地 優二 | 中核地域支援センター いちはら福祉ネット |
| | 福田 卓美 | 特別養護老人ホーム グランモア和光苑 |

藤森 三月 市原鶴岡病院
安田 清 NPO法人一步一步
監査 飯吉 裕樹 介護老人保健施設 なんな苑

4.閉会あいさつ（副会長 小出 貢二）認知症状がある方が増えてきていることは実感している。
地域との連携やこのような会が必要だと思う。

以上、この議事録が正確であることを証します。

議事録署名人 小沢 義典 

議事録署名人 池田 有紀 